

【報告】平成 30 年度災害廃棄物対策東北ブロック協議会 活動について

【協議会について】

下記の通り、計 3 回開催した。

○第 1 回 平成 30 年度 7 月 31 日（火）

議 事

- (1) 今年度の活動計画について
- (2) モデル事業について
- (3) 西日本豪雨災害について（報告）



○第 2 回 平成 30 年度 11 月 26 日（月）

議 事

- (1) 災害廃棄物対策指針の改定について
- (2) 北海道胆振東部地震への東北地方環境事務所の対応について
- (3) 人材育成事業について（報告）
- (4) 環境省主催「災害廃棄物対策推進検討会 第 1 回地域間協調ワーキンググループ」について（報告）

○第 3 回 平成 31 年度 3 月 8 日（金）

議 事

- (1) 北海道胆振東部地震の振り返りについて
- (2) 仮置場部会の検討結果について
- (3) 人材育成事業と計画策定モデル事業の実施について
- (4) 来年度の方針について

【人材育成事業について】

下記の概要で、計 8 回実施した。参加者人数は計 169 人。

日程	県	場所	参加者人数
平成 30 年 11 月 15 日	青森県	青森市内（新町キューブ）	17 人
平成 30 年 11 月 16 日	青森県	八戸市内（青森県八戸合同庁舎）	16 人
平成 30 年 12 月 13 日	宮城県	仙台市内（宮城県庁舎）	21 人
平成 31 年 1 月 15 日	宮城県	仙台市内（宮城県庁舎）	21 人
平成 31 年 1 月 17 日	秋田県	秋田市内（秋田県庁舎）	24 人
平成 31 年 1 月 24 日	秋田県	秋田市内（秋田県庁舎）	16 人
平成 31 年 2 月 15 日	山形県	新庄市内（最上総合支庁舎）	26 人
平成 31 年 2 月 22 日	山形県	山形市内（山形県庁舎）	28 人

各県での図上演習の実施風景

青森県	
	
事前演習	情報の共有
宮城県	
	
情報の整理	発生量の推計
秋田県	
	
様式の提出	グループでの振り返り
山形県	
	
市長役への報告	市長役からの質問

【廃棄物処理施設においての検討作業について】

下記の通り、検討作業（視察）を行った。

日程：平成 30 年度 11 月 26 日（月）（第 2 回協議会終了後の午後）

◆ 観察の概要

仙台市内で実際に稼働している産業廃棄物処理施設（鈴木工業株式会社）に移動し、現場を確認しながら処理方針や処理対応の点検を行った。

協議会メンバーには、施設内部を詳細に見た経験を持たない者も多いため、現場を参考にしながら、協議会で議論している災害時の対応方針や、施設の状況、平時の備え等を確認することとした。



【仮置場に関する部会について】

下記の通り計 3 回開催し、検討結果を第 3 回協議会（3 月 8 日）の場で報告を行った。

○ 第 1 回 平成 30 年 12 月 3 日（月）

議 事

- (1) 部会の目的、検討事項、スケジュール等について
- (2) 仮置場候補地の選定について
- (3) 仮置場の運営について

○ 第 2 回 平成 30 年 12 月 20 日（木）

議 事

- ・仮置場の運営について

○ 第 3 回 平成 31 年 2 月 5 日（火）

議 事

- ・仮置場候補地の選定及び仮置場の運営について



仮置場に関する部会構成員（6 市町村）

弘前市	都市環境部 環境管理課
宮古市	市民生活部 環境生活課
石巻市	生活環境部 廃棄物対策課
大仙市	市民部 環境交通安全課
高畠町	生活環境課
二本松市	市民部 生活環境課

【セミナーについて】

下記の通り、第3回協議会終了後の午後、災害廃棄物処理に係る事務又は技術的な知見の普及啓発を目的として、事務局管内の地方公共団体職員向けに外部講師を招聘しセミナーを開催した。

1. 日時

平成31年3月8日（金） 13:00～16:10

2. 全体テーマ

「真に“災害廃棄物に強い”自治体へ～より実効性の高い取り組みとは」

3. プログラム

	プログラム	講演者等（敬称略）
13:00	開会あいさつ	東北地方環境事務所
13:05	講演（1） 「災害廃棄物対策の平時における取組について」	埼玉県 環境部 資源循環推進課 主査 寺田 稔
14:25	(休憩)	
14:35	講演（2） 「災害廃棄物処理システムの災害レジリエンス（強じん性）を自己評価するツール」	国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 主任研究員 多島 良
15:55	全体質疑応答	
16:10	閉会	

埼玉県 寺田氏



国立環境研究所 多島主任研究員

